安全衛生作業標準

圧 延工場

職場名

圧延班

区分No

A - HR - 1 - 1

(作業名) ホットレベラーロール組替え <引き 抜き>

(安全保護具) 皮手・軍手・ゴム手

(使用機器工具) チェーンブロック、専用ワイヤー

イルエム	/L All - 10T	口业	11- alle 0 77 -r	
手順N o	作 業 手 順 レベラーロール位置を垂直に合わせる	<u>員数</u>	作業の急所 ・入側、出側単独運転にて行なう	安全上の要点 ・ロール回転時は、ユニットには近付かない
		2		・ロール回転時は、ユーットには近りかない
2	レベラーロール冷却水を「閉」にする	1	・運転室にてポンプ停止	
			・電動バルブを「閉」にする	
3	入側、出側ガイド開閉用のチェーンブロック及び	4	・フロアーにて整頓して並べて置く	・使用工具は事前に点検しておく
	使用工具・足場板(入出側・DS)の準備		・使用工具本数をチェックする	・DSは専用足場を準備する
4	機外レール部フロアーの取り外し	2	・2ヶ所取外す	・専用吊り具を使用する
5	A-12上部南側屋根の取外し	2	・1ヶ所取外す	・玉掛者は足元に充分注意する
6	ロール組替装置の機外レール摺動部のスケール除去	1		
7	ロール組替装置に給脂を行なう	1	・カップリングホルダー	
			・チェーンスプロケット	
			プランマブロック ・軸受	
8	組替台車と組替部のピン取外し	2		
9	組替台車後退	1	・WS下作業に支障のない	・台車後退時は、レールから離れておく
			位置まで後退する	
10	カップリングホルダー安全ピン取外し	2	・4ヶ所取外す	
(災害例)	(予想される災害)			(資 格) Cr運転士
				(実施年月日) 平成 17年 3月 30日
				(改定年月日) 平成 18年 6月11日
				(以足平月日) 平风 18年 0月11日

安全衛生作業標準	圧 延	工場	職場名	圧	延班	区分No	A - HR - 1 - 2
(作業名) ホットレベラーロール組替え <引き 抜き>		:保護具) 皮手・軍手	・・ゴム手		(使	· 用機器工具)	

手順N o	作業手順	員数	作 業 の 急 所	安全上の要点
1	主駆動電源を「OFF」にする	1	・主圧下バランス「ON」の	
			確認	
			・前後面 補助ロール+1㎜に	
			SET確認	
			・主圧下平行状態SET確認	
2	主圧下同時上昇	1	・パスラインより+100mm	・合図者間の連絡を確実に行う
3	組替え様コマの取付け	4	・上バックアップフレームと	
			下補助ロール間 : 口4個	
			・下バックアップフレームと	
			上補助ロール間 : 凸 4個	
4	主圧下同時下降	1	・上バックアップフレームと	・合図者間の相互連絡を確実に行う
			下補助ロール間のコマが	・コマが確実にSETされたか確認する
			接触するまで下降する	
			・TOTAL反力「100t」	
5	下部給脂ホース取外し	4	·WS7本 ·DS5本	
(災害例)	(予想される災害)			(資格)
				(実施年月日)平成 17年 3月 30日
				(改定年月日)平成 18年 6月 11日

安全衛生作業標準	圧延工場	職場名	圧	延班	区分No	A - HR - 1 - 3
(作業名) ホットレベラーロール総 く引き 抜き)	· II (:	マ全保護具) 皮手・軍手	≦•ゴム手			使用機器工具) 『リメガネスパナ ・油圧レンチ

手順No	作業手順	員数	作 業 の 急 所	安全上の要点		
6	下バックアップフレームとボトムガーターとの取付け	4	·WS4本 ·DS4本	・ハンマーで手を叩かない様に注意する		
	ボルト取外し			・暗所作業の為、照明を確保する		
				・確実にボルトが取外せたか確認する		
			・油圧レンチで緩める	・専用治具を使用する		
7	組替台車前進		・組替台車とピン穴が合うまで	・合図者間の連絡を確実に行う		
8	組替台車と組替部のピン取付け		・ピンは奥まで挿入して	・ピン穴を指で確認しない		
			ロックする			
9	上部給脂ホース取外し	4	·WS5本 ·DS5本			
10	冷却水(WS)・ドレンホース(DS)取外し		·WS2本 ·DS5本	・WS配管は重量物なので、2人作業で行なう		
11	チェーンブロックを圧下デッキに取付ける		・前面1ヶ所 ・後面1ヶ所	・2人作業で行う		
12	チェーンブロックをガイドに掛ける					
13	ガイドとトップガーターとの締結ボルト取り外し		·前面2本 ·後面2本	・ボルトを外す時は両手で持つ		
			・油圧ジャッキでガイドを押す	・専用治具を使用する		
14	ガイドをチェーンブロックにてOPEN「前後面」	2	・ピン穴が合うまで開く			
15	ガイドとトップガーター間 固定用安全ピン取付け	2	・前面2ヶ所 ・後面2ヶ所	・確実に奥まで挿入する		
(災害例)	(予想される災害)			(資格)		
	・油圧レンチを手で支え	ていた為	、レンチ作動時	(実施年月日) 平成 17年 3月30日		
	手が挟まれる。			(改定年月日) 平成 18年 6月11日		

 安全衛生作業標準
 圧延工場
 職場名
 圧延班
 区分No
 A-HR-1-4

 (作業名) ホットレベラーロール組替え く引き 抜き>
 (安全保護具) 皮手・軍手・ゴム手 ド手ハンマー・モンキー・54ミッメガネスパナ

手順No	作業手順	員数	作 業 の 急 所	安全上の要点
16	上バックアップフレームとトップガーターとの取付け	4	·WS3本 ·DS3本	・DSはベニヤ板で足場を確保する
	ボルト取外し		·入側4本 ·出側4本	・ハンマーで手を叩かない様に注意する
			・ボルトは取外さず治具で	
			トップガーターに固定する	
17	チェーンブロックをガイドから取外す	1	・前面1ヶ所 ・後面1ヶ所	
18	補助ロール圧下スクリュー先端部取付けネジ取外し	4	・ボルト WS2本 DS2本	・緩める時は専用工具を使用する
			・ネジ WS2ヶ所 DS2ヶ所	・大ハンマーを使用する時は、周囲の作業者に気を付ける
19	主圧下同時上昇	1	・上バックアップフレームより	・合図者間の連絡を確実に行なう
			ボルトが抜けるまでは、微動	
			にて上昇する	
			・上限にてSTOP	
20	アンジャミング強制開放	1	・アンジャミング OFF ランプ	
			点灯の確認	
21	機内レール上昇	1	下バックアップフレームより	
			40mm上昇する	
(災害例)	(予想される災害)			(資格)
	補助ロール圧下スクリュー ている人を大ハンマーで叩 対策:大ハンマーを使用す	フいてしまし		(実施年月日) 平成 17年 3月 30日 (改定年月日) 平成 18年 6月 11日

(安全保護目) 皮羊•菌羊•寸/羊	使用機器工具) スハンマー・55⁵ッメガネスパナ

手順No	作 業 手	順	数	作 業 の 急 所	安全上の要点
				・機内レール完全上昇を確認	
				・下部取付けボルトの干渉	
				確認	
22	2 カップリングフォルダーCLOSE		1 ・カップリングフォルダー安全		・カップリングフォルダーを作動させる時は、相互連絡を確実
				ピン取外しを再度 確認後	行なう
				CLSEさせる	
23	WSスラスト受けOPEN		2	•2ヶ所	・大ハンマーを使用する時は、他の作業者に気を付ける
				・ナット径 55mm	
24	4 トップガーター落下防止用安全装置SET		2	・WS2ヶ所・DS2ヶ所	・WSは脚立を使用して足場を確保する
	<確認事項>				
	「主圧下上昇限」「主圧下バランスON」				
	「アンジャミングOFF」「全後面ガイドOPEN」				
	「カップリングフォルダーCLOSE」				
	「WSスラスト受けOPEN」「機内レー	・ル上昇限」			
	「ボルトの干渉なし」「フレホース取外し」				
(災害例)	(予禁	まされる災害) 			(資格)
WS作業者がトップガーター落			防止	用安全装置をSETす	
	る時、	脚立を使用しなかった為、車	転落	する。	(実施年月日)平成 17年 3月 30日
	対策:	WS作業者は、必ず脚立を	使用	する。	(改定年月日)平成 18年 6月 11日

安全衛生作業標準	圧延工均	職 場 名	職 場 名 圧延班		区分No	A - HR - 1 - 6
(作業名) ホットレベラーロール組替え <引き 抜き>		安全保護具) 皮手・軍	手・ゴム手		(使	[用機器工具)

手順No	作業手順	員数	作 業 の 急 所	安 全 上 の 要 点
25	ロール組替え部引出し	4	後退限まで(メカスト)	・台車ピット内には立ち入らない
				・油圧ジャッキの取扱いに注意する
(災害例)	(災害例) (予想される災害)			(資格)
				(実施年月日)平成 17年 3月 30日
				(改定年月日) 平成 18年 6月 11日
				(\$\lambda \lambda \rangle \lambda \l